

A black and white photograph of Prince William, Duke of Cambridge, speaking into a microphone. He is wearing a dark suit, a white shirt, and a patterned tie. He has a beard and is gesturing with his left hand while holding the microphone with his right. The background is dark and out of focus.

RISING TO THE CHALLENGE

気候変動に立ち向かう「アースショット賞」設立

ウィリアム王子の挑戦

「楽観主義と行動が変化を起こす」

ブラジルでの国連気候変動サミット（COP30）の開催を目前に控えた2025年11月、かねて気候変動対策に熱心に取り組んできた英国のウィリアム王子が、自身が主宰する「アースショット賞」のイベントで登壇。同賞は、地球再生への具体的な解決策を募り、優秀な提案者に資金を授与するというもの。このプロジェクトを主導する王子は、気候変動をめぐる悲観論がまん延する現状について、「楽観主義と行動が変化を生む」と強調。この取り組みが「次世代に希望を与えるための重要なメッセージ」であると語る。



インタビュアー

クリスティアン・アマンプール

イラン人の父と英国人の母を持つ。生まれはロンドンだが、幼少期をテヘランで過ごす。英国でジャーナリズム養成講座を修了。渡米し、ロードアイランド大学でジャーナリズムを専攻、首席で卒業。1983年、CNNに入社。数々の紛争地帯で現地取材を行い、ジャーナリストとして高い評価を得る。2021年に卵巣がんで卵巣の摘出手術を受けたことを発表。現在も第一線で活躍する。



スピーカー

ウィリアム王子

英国国王チャールズ3世と故ダイアナ元妃の長男で、現在、王位継承順位第1位。称号は「ウェールズ公」。スコットランドのセント・アンドルーズ大学で地理学を学んだのち、英国陸軍のサンドハースト王立陸軍士官学校に入学し、軍務に就いた。現在は、慈善活動や公務において、地球環境保全、メンタルヘルス、ホームレス問題などの課題に積極的に取り組んでいる。



Listening Quiz

(56) 気候変動対策の革新的なアイデアを募る「アースショット賞」

World leaders are heading to Brazil ahead of the upcoming UN climate summit there. COP30* will be held in Belém, the gateway to the Amazon, but comes at a worrying time for climate action. Two-thirds of the nearly 200 countries that signed up to the 2015 Paris climate accord have failed to meet a deadline to publish new climate plans, with officials now admitting that the target of limiting global warming to 1.5 degrees above preindustrial levels is effectively dead.

So, is there somewhere to look for hope? One of the highest-profile attendees is Britain's Prince William, and he is in Brazil to attend the conference on behalf of the king. But before that, he's hosting his own gathering for his annual Earthshot Prize.* It's in its fifth year and awards \$1.3 million to each of five prize-winners who are finding on-the-ground solutions to repair our planet.

Today, Christiane moderates the Earthshot Impact Assembly,* speaking to finalists and world leaders making a difference. And as part of that assembly, she sat down with the man at the center of it all, Prince William.

gateway to:

～への出入り口、玄関口

sign up to:

～に署名する

accord:

(国際間の) 協定

fail to do:

(するべきこと) をしない、怠る

meet a deadline:

期限に間に合う、締切を守る

preindustrial:

産業革命前の

effectively:

事実上、実質的に

high-profile:

注目を集める、知名度の高い

attendee:

出席者、参加者

on behalf of:

～の代理として

award A to B:

AをBに授与する

on-the-ground:

実践的な、現場での

moderate:

(会議など) の司会を務める

assembly:

会合、集会

finalist:

ファイナリスト、最終候補者

at the center of:

～の中心にいる

(57) 「緊急性と楽観主義が行動につながる」

Christiane Amanpour This has been very inspiring—a lot of incredible finalists, a lot of optimism and action and hope. In the five years—this is a 10-year action project—I think you've sorted through thousands and thousands of finalists,* you've got

inspiring:

鼓舞するような、刺激的な

optimism:

楽観主義、前向きな態度

sort through:

(選別するために) ～を仕分ける、選り分ける

きた
来る国連気候サミットを目前にして、世界各国の指導者たちがブラジルに向かっていきます。COP30はアマゾンの玄関口であるベレンで開催されますが、気候変動対策にとって憂慮すべき時期に行われることとなります。2015年のパリ協定に署名した200近い国のうち3分の2が（自国の）新たな気候対策計画の提出期限に間に合わず、関係者も今や、地球の温度上昇を産業革命前のレベルと比べて1.5度に抑えるという目標は、事実上達成不可能だと認めています。

では、どこかに希望を見いだせる場所があるでしょうか。最も注目を集める参加者の一人が、英国のウィリアム王子です。彼は国王の代理として会議に参加するためブラジル入りしましたが、それに先立って、王子自身の主催で、年に1度授与される「アースショット賞」の会合が開かれます。同賞は今年（2025年）で5年目を迎えますが、地球を修復するための実践的な解決策を見いだそうとする5組の受賞者に、それぞれ130万ドルを授与しています。

今日は、クリスティアン（・アマンブール）がアースショット・インパクト・アセンブリーの司会を務め、（地球に）良い変化をもたらそうとするファイナリストおよび世界のリーダーに話を聞きます。その会合の一環として、彼女は中心人物であるウィリアム王子と対談しました。

クリスティアン・アマンブール これはみんなの意欲をかき立てています——大勢の素晴らしいファイナリストに、あふれんばかりの楽観主義と行動と希望というのは。この5年間で——これは10年間の行動計画ですが——あなたたちは何千ものファイナリストを選別なさったと思い

■ COP30

COPは「Conference of the Parties」の頭字語で、国連の「気候変動枠組み条約」に参加する締約国の会議のこと。地球温暖化対策に関する国際的な取り決めや、各国が削減目標を達成するための枠組みなどを議論する。「COP30」はその30回目の会議で、ブラジルのベレンで開催された。「2035年までに適応資金（気候変動への適応策のための資金）を少なくとも3倍にする」努力を呼び掛けることなどが盛り込まれて閉幕した。

■ Earthshot Prize

ウィリアム王子が創設した、地球の環境問題に対する革新的で野心的な解決策の提案者に毎年授与される国際的な環境賞で、2020年に始まった。「Earthshot（アースショット）」という名称は、米国のジョン・F・ケネディ元大統領による月面着陸計画「moonshot（ムーンショット）」にちなむ。当時不可能と思われた月面着陸のように、困難な環境問題の解決を「アースショット」として捉え、実現させることを目指すとしている。

■ the Earthshot Impact Assembly

アースショット賞のプログラムの一環として、受賞者、ファイナリスト、投資家、ビジネスリーダー、政策立案者などが一堂に会し、解決策の実現と規模拡大を加速させるための協力や議論を行うための集会。

■ thousands and thousands of finalists

アマンブール自身がこの直後に apparently 75 actual solutionsと述べているように、プロジェクト開始からこの5年でファイナリストに選ばれたのは「15×5年=75」であろうから、この finalists は恐らく nominees（もしくは nominations）や applicants（もしくは applications）の言い間違いであろう。